

漢検生涯学習ネットワーク 会員通信

- 公益財団法人移行にあたつてのご挨拶 ……1
- 第7回研修会 案内 ……2
- 漢字同好会からのお知らせ ……3
- 漢語興起～巷に生きる漢字あれこれ～ ……4
- 初めて一級に合格しました! ……6
- お知らせ 投稿募集 ……8

公益財団法人移行にあたつてのご挨拶

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

代表理事 高坂 節三

このたび当協会は、内閣府より公益財団法人の認定を受け、2013年4月1日から「公益財団法人 日本漢字能力検定協会」として新たに出発いたしました。

1992年の財団設立以来、漢字文化の発展は日本文化の発展につながるとの思いから、「日本漢字能力検定」の実施をはじめとして漢字文化の普及啓発に努めてまいりました。

このたびの公益財団への移行にあたつて、公益法人にふさわしい内部体制を整え、生涯学習を通じて日本文化の発展に寄与するため、公益活動の対象を「漢字」から「日本語・漢字」に広げ、すべての人の学びを支える協会へと生まれ変わります。

今後は、「普及啓発・支援」「調査・研究」「日本語能力育成」の3つを公益事業活動の柱とし、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるための活動に邁進いたします。

2011年に発足した「漢検生涯学習ネットワーク」も3年目となり、会員数は6500名を越え、ますま



平成25年度の活動予定

- 5月 ● 会員通信Vol.9 発行
 - 6月 ● 第7回会員向け研修会(大阪府大阪市)
詳しくは本誌2ページをご覧ください。
 - 8月 ● 会員通信Vol.10 発行
 - 9月 ● 第8回会員向け研修会(開催地未定)
 - 11月 ● 会員通信Vol.11 発行
 - 12月 ● 第9回会員向け研修会(開催地未定)
 - 2月 ● 会員通信Vol.12 発行
- ※年度途中で変更になる場合があります。

す皆様の支持が広がっていることは喜ばしい限りです。また3月には、会員を対象として始まった漢字教育サポート育成講座によつて、115名の第一期漢字教育サポーターが誕生しました。インターネットを活用した第二期の講座も始まり、地域社会へ漢字・日本語の素晴らしさを伝える活動の土台が作られつつあります。皆様には、漢字・日本語に対する熱い思いを持ち続け、自ら研鑽されますとともに、学ぶことの面白さを広める地域リーダーとなつていただきたいと存じます。我々も、そのような皆様をしっかりと支えていけるような協会を目指します。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

ホームページが新しくなりました!

漢検生涯学習ネットワーク

<http://www.kanken.or.jp/kanken/lifelong/>

聴
講
者
・
発
表
者
募
集

第7回 漢検生涯学習ネットワーク会員向け研修会

日 時 ● 平成25年6月9日(日) 13時30分～16時40分
(13時00分 受付開始)

場 所 ● 毎日インテシオ会議室 大阪府大阪市北区梅田3丁目4番5号

ア クセス ● JR: 大阪駅桜橋口出口から徒歩5分
地下鉄: 四つ橋線西梅田駅から徒歩5分

プログラム ● 講演 清水 政明氏(大阪大学大学院言語文化研究科准教授)
テーマ『ベトナムの漢字文化と字喃の創出』

プロフィール

1989年 大阪外国语大学外国語学部(ベトナム語専攻)卒業
1999年 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程研究指導認定退学
1999年 京都大学総合情報メディアセンター助手
2003年 大連理工大学外国语学院副教授
2005年 首都大学東京オープンユニバーシティ准教授
2007年 大阪大学世界言語研究センター准教授
2012年より現職。専門は字喃資料に基づくベトナム語音韻史。

会員発表 1名(発表は1人30分以内)

※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

聴講者定員 ● 130名

参加申込方法 ● 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

FAX・郵送…同封の『第7回会員向け研修会 申込用紙』(挨拶文裏面)に必要事項を記入の上お送りください。

Eメール…申込用紙の必要事項(氏名・電話番号・会員番号・住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載してお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※参加の可否については5月下旬に郵便もしくはEメールにてお知らせします。

申込締切日 ● 平成25年5月22日(水)(協会必着)

研修会にてご自身の研究発表をされる会員を募集します!

ご自身の日ごろの漢字学習・研究の成果を発表しませんか?

発表時間は1人30分以内です。

発表希望者は、同封の『第7回会員向け研修会 申込用紙』の発表希望の項目にチェックし、発表したい内容の要旨(A4用紙1枚以内)を添付してFAXもしくは郵送でお送りください。Eメールの申し込みの場合は、要旨を添付ファイルでお送りください。発表希望者多数の場合には選抜させていただき、その結果は5月下旬までにお知らせします。



漢字教育サポーターは今後、学校や地域団体から講師・教育ボランティア等の要請に応じ、地域の漢字教育発展にご尽力いただきます。皆様の活動の様子は、会員通信でもお知らせしていく予定です。明るく溌剌とした第一期漢字教育サポーターの皆様の活躍に期待しています!

News! 第一期 漢字教育サポーターの修了式を行いました

去る3月23、24日、東京と大阪にて第一期漢字教育サポーターの修了式が開催されました。合わせて115名の方が一年間の課程を無事に修了し、感慨深そうに修了証書を手にされていました。一年間机を並べて勉学に励んできただけあって、会場は温かい雰囲気。すっかり受講者同士の絆が深まっており、そこで祝福しあう声が聞かれました。

第3回

漢感興起

かんかんこうき

（巷に生きる漢字あれこれ）

「観感興起」…目で見、心に感じ、感動して奮起すること。

（漢検四字熟語辞典より）

さまざまな立場を通して感じる、またそれぞれの角度から観ると、漢字の姿は一様ではないようです。このコーナーでは、漢字と特別な関わり合いを持つ人を取り上げ、その人ならではの「漢字模様」について伺います。

今回は、戸籍の電算化事業を通して、膨大な漢字を見つめてきた富士ゼロックスシステムサービス株式会社の小久保明彦さん。一つの漢字を追い続ける探究心に迫ります。

——まずは、小久保さんが行なっている「戸籍の電算化事業」とはどのようなもののか、教えてください。

本格的に戸籍制度が整えられたのは明治時代からで、当時の戸籍は和紙に手書きされていました。時代が下って、和文タイプライターが出現しましたが、膨大な数の漢字活字から一文字探しして戸籍に打ち込む作業は、たいへんな手間でした。さらに紙では検索もしにくく、紙そのものがボロボロになることもあります。そのようなことから、平成6年に戸籍法が改正され、戸



漢検の辞典も小久保さんの座右の書だそうです。

——紙の戸籍に書かれた漢字を判読する際のご苦労は？

漢字を見るときは、線の長さや接し方、点の位置など細かいところまで確認しますが、手書きの文字なので、書き癖なのかそれとも字体が違うのかといった判断が非常に難しいですね。ある期間に戸籍を書き続けてきた担

籍の電算化が認められました。以降、戸籍をデータ化し、検索や異動の処理を簡単にできるようにした戸籍システムの開発に参画してきました。これまでに1021自治体にシステムを導入し、約2700万の戸籍、延べ人数6700万人のお名前を戸籍に入力してきました。（平成25年2月末）

——戸籍にまつわる漢字のルールにはどのようなものがありますか？

戸籍に使つてよいとされている漢字の字体は、正字体（※1）と俗字体（※2）です。ですので、見たことのない漢字が使われていた場合、まず漢和辞典を引き、正字体もしくは俗字体として載っていないか調べます。掲載があれば戸籍に使える字体なので、そのままデータ化できます。それでも見つからなかつた場合、戸籍法に照らして他の字体に置き換えます。もちろん、ご本人の承諾が必要ですし、文字にこだわりのある方、由緒ある文字を使つていている方は置き換えないという選択もできます。その場合は電算化せず、紙のまま戸籍を残します。

（※1）正字体…ある文字において、正統規範」とされる字体。

（※2）俗字体…ある文字において、世間で通用しているが正統でない字体。

当の方がいらっしゃるような自治体では、その時期の戸籍には同じような書き癖が至る所で見られるので、書き癖か字体の違いかも分かりやすいのですけれどね。あとは、戸籍が書かれている和紙は何十年も昔の紙なので虫食いしているたり、虫食いを防止するために柿渋を塗っていたそうなのですが、日が当たつて茶色く変色して肝心の戸籍が見えなくなったりしていることもあります。点一つにしても、昔人は達筆なので思わず打つてしまつた点なのか、申請された時からあつた点などのなど、判断が難しいですね。

——字体の違いと単なる書き癖の違いを見分けるコツはありますか？

一度、筆で書いたつもりになつてその字を書いてみるとです。勢い余つてはみ出しそうだと、点を打ちそうだとか曲がりそうだと、そういう筆の勢いで書かれる可能性があるものか、それとも意識して書かれているものかなど、感覚的ですが見分ける一つの指標になりますね。文字そのもののバランス、例えば「落」の「フ」が大きいか「シ」が大きいなどの判断は、なかなか難しいですね。基本的に常用漢字表（付）字体についての解説を確認しています。

——一つの漢字でどのくらいの字体がありましたか？

弊社では戸籍だけでなく住民票等のシステムを取り扱っていますので、住民票の文字も網羅しています。紙の戸籍に書かれていた漢字、住民票に登録されている電子データなどすべて合わせて、「辺（邊）（邊）」の字体は209種見つかりましたし、「藤」だけでも120種もの字体が見つかりました。住民票は戸籍より先に電算化されたのですが、当時は正字体や俗字体に置き換えて良いという法律がなく、手書きされた字体をそのとおりに登録しなければなりませんでした。その結果、住民票には正字体・俗字体、そしてそのどちらでもない字も含め、膨大な数の字体が登録されることになりました。

——住民票には正字体でも俗字体でもない字、つまり「誤字」がたくさん含まれているということですか？

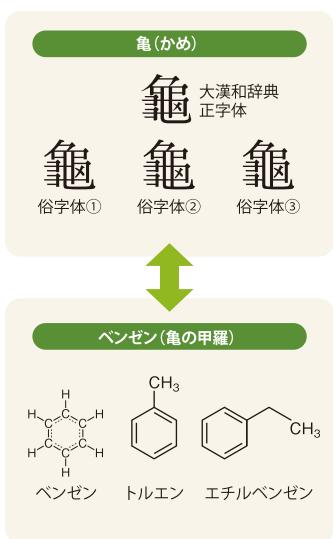
現在も各自治体では戸籍に登録された漢字の字体に合わせて、住民票に記載されている「正字体でも俗字体でもない字」を直していく状態ではあります。まだ残っているようです。だからといって、それを「誤字」というのはちょっと失礼ですね。私も一度、ある方から自分の漢字はこの名刺の通りに書くのだが、この字で役所が登録してくれないと相談を受けたことがあります。そこで辞書を調べたらやはり載っていないくて、つい「それは誤字です」と言つてしまつて、その方を傷つけてしまつたのです。辞書に載っていないても昔からこの文字を使ってきたわけだし、一人一人漢字に想いがあるのだから、それ以来、それが誤字とは言わないようにしています。

——私たちは検定という性格上、どうしても漢字の正誤を判定していますが…

マルバツ付けるのって難しいですね（笑）。せつかくご先祖様が付けてくださった漢字は、どこかの辞書に載つていさえすれば戸籍の漢字として認められるわけですから、なんとか探し出してそのまま活かしたい、一文字でも多くコンピューター上にその漢字を再現したいと私は思っています。本来は漢字にマルバツはないのかもしれませんね。どのような漢字も正しいと思いますよ、ただ自分の字が汚いからこう言つているのかもしれません（笑）。

——小久保さんは理系出身で化学がご専門のことですが？
部首の索引表と元素の周期表ってなんか似てないです
か？とても似ている気がして、最初から抵抗がありませ
んでした。あと、「龜」という漢字とベンゼン環構造式が
「亀の甲羅」と呼ばれているベンゼンに、ほんのちょっと何

かが加わるだけでトルエンやエチルベンゼンといった別物ができる。龜という漢字も、棒がちょっと出たり出されたりするだけで、違う字体として判別され、それぞれ別の俗字とするなど、コンピューターを使って統計を取つたら面白いかもしれません。



言語を、なくなってしまわないうちにコンピューターの中に入れてしまいたいです。また、膨大な漢字のデータベースをもとに、漢字が四千年かけてどのように変遷してきたのかなど、コンピューターを使って統計を取つたら面白いかかもしれません。

——それでは最後に、小久保さんのお仕事を表す漢字「文
字」を教えて下さい。

「文字ではありませんが、「探」と「悠」ですね。「探」は「さ
がす」「さぐる」「じこらみる」「うかがう」「きわめ
る」「たずねる」で「探求すること」。もう一つ「悠」
は、「ゆう」「はるか」と読み、「いつまでも終
わらない、延々続くような」漢字のお仕事を
を表しています。

——ありがとうございます。

インタビュー後記

情報化社会の中、パソコンや携帯で表示される漢字は点画が省略され、より簡略化が進んでいます。このように「電算化」と聞くと、便利さと引き換えに人間らしさが奪われると感じる方も多いのではないか。
しかし、戸籍電算化システムはそのような思い込みを覆してくれました。システムに登録されていた「同じだけちょっと違う漢字」を眺めていると、その字字に込められた想いも、その数だけ存在するのだな、いろいろな物語が見えてくるようでした。戸籍電算化システムが持つ「温かみ」に胸を打たれた取材でした。



初めて一級に合格しました!

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声をご紹介します。

平成二十四年度第二回検定に合格しました。二年がかり六回目の挑戦でした。準一級の合格から、さらに頂上まで登つてみようと思い勉強を続けました。

具体的な勉強法は過去十年分の問題を繰り返し解き、頭に叩き込むことと、「完全征服」掲載の問題を覚えることでした。当て字に関しては五十音順のリストを作り、国字は出題頻度を調べて、一度出したものは決して間違えないようにしました。

不合格慣れ(?)してきました折、「いかに正しい漢字を書くか」ではなく、「いかに不正解にされない漢字を書くか」ということに学習の方向が変わっていきました。凡ミスを防止するため、画数の多い漢字は簡易慣用字体、許容字体を積極的に活用することを念頭に勉強しました。こうした学習の中で記憶を強化していくましたが、やはりベースにあるのは常に漢字を紙に書き続けることでした。

合格はしたもの、凡ミスの連発、普段の勉強では絶対間違えることのないような問題や、よく考えれば正解できる問題を落としてしまう体たらく。点数は合格ラインに一点だけ多い百六十一点でした。漢検の頂上を目指し、二年かけてやれたことは、所詮氷山の氷塊の一片を溶かしやつと数滴の水にしたようなもの。漢検一級の語彙を使って言うとすれば、跛鼈が動かせる脚をやつと一步進めたに過ぎないと思います。

一級で出題される漢字は画数も多く複雑なため、凡ミスも起こりやすいようです。そこで、正答とし認められる許容字体を徹底的に勉強し、自分の間違いにくい字体を探すという逆転の発想で、見事弱点を克服されました!

新潟県 矢川さん

平成二十四年度第二回の検定が三回目の挑戦で、161点のギリギリで合格しました。

合格に向けて、過去問を四年分ネット等で買いました、市販の問題集を三冊解き終えました。それでも本番では見たことのない漢字が出て、これでは足りないと思つたので、さらに絶版となつた「合格捷径」という本を入手し、知らない字を網羅的にまとめました。一級では「知らない」「罪、失点」などのためにかく知らない字を減らす。そして一度見たものは絶対に間違えない。これに尽きます。「偏」が違うだけ等の紛らわしいものは書き出してまとめて、自分専用の参考書を作り、目に焼き付ける。「竜攘虎搏」と「竜驥虎視」など。

三回目の受検後、手応えはありましたが解答をもとに自己採点するどどうしても159点になりました。一度絶望しました。しかし後日結果を照会すると「合格」の文字が! 実は転記ミスか別解を書いていたかで、書き取りが一つ合っていたのです。これは同点九回裏二死満塁で一度見逃し、三振を確信したあと、押し出し判定で勝ったような微妙な合格の仕方ですが、それでも嬉しかったです。合格したら自信がつきます。

とりあえず合格したので、今後はまだやつていない問題集に取り組み、着実に知識を増やそうと思います。

京都府 山村さん

平成二十四年度第二回検定で一級に合格。五度目の挑戦で六十五才の時です。

三年前、簡単な漢字が読めても書けなくなつた事にショックを受け、老化防止のために漢検受検を始めました。二級と準一級は一度で合格。一級初挑戦の時は問題集一冊を完璧に熟しましたが、全くダメでした。二度目からは問題集を五冊に増やし徹底的に勉強しましたが、いつも惜しいところで不合格。これではいけないと「漢検漢字辞典」と「漢検四字熟語辞典」を購入し、それと一緒に該当する漢字と四字熟語を全てノートに書き写して覚えました。それと併行して、明治・大正の文学作品を読みました。勉強が進むにつれて知的好奇心が増幅されて楽しくなつてきました。でも四度目不合格の時は本当に落胆しました。しかし、もうこうなつたら合格する迄受け続けるしかないと覚悟を決めて勉強したことが功を奏したのだと思います。

年を重ねても努力さえすれば、無理だと思われる事も達成できるのだという自信がつきました。これからも漢字の勉強に邁進していくつもりです。漢字学習が私の老後を豊かなものにしてくれると確信しています。

辞書を使っての体系的な漢字勉強と、読書を通じての実践的な漢字勉強を組み合わせて一級合格! 不合格で落ち込んだだけ、合格した時の嬉しさは何倍にもなつて返りますね。

愛知県 渡辺さん

平成二十四年度第二回検定、今回で最後と臨み、八度目の挑戦で漸く合格することができました。

私が受検を思い立ったのは、女優の宮崎美子さんの著書に接してからです。

ただ、新聞等が常用漢字に縛られている中で、どのようにして六千文字を覚えるかが問題でした。先ず、夏目漱石等の古典を読み、難しい漢字に慣れることから始め、過去問や問題集も反復勉強。しかし、厚い壁が立ちはだかり、七割の得点にとどまつてなかなか合格できません。六十代になり記憶力の衰えは否めず、覚えてすぐ忘れます。そこで、漢字の持つ意味を一つずつ「訓読み」から理解することにし、加えて何度も書いて覚えることを徹底。退職後のこの一年間は、時間の余裕が出来、朝の時間帯や、昼間喫茶店等で、まとめたノート（約三十冊）の確認など集中して勉強。

結果、挑戦すること約三年、六十五歳にして念願達成。そのときの気持ちを川柳で表しますと、「漢字漬け 漢検制覇 夢叶う」です。

合格までかなり時間を要しましたが、漢字の持つ奥深さに魅了されています。最近では、友人に「鼈」「蒂」「蟹」など難しい漢字を紹介して楽しんでいます。今後も漢検に挑戦し、試験の時の緊張感を楽しみたいと考えております。

大阪府 太田さん

訓読みをしつかり覚えることは、その漢字の意味を理解することにつながるため、熟語になった場合も意味を推測しやすくなります。次は友人の方々も誘って挑戦されてみてはいかがでしょうか？

平成二十四年度第二回検定において合格する事ができました。私は高校教師を定年の四年前に早期退職しました。定期健診で前立腺癌と診断され、骨転移もあるとの事で仕事の継続は無理だと自ら判断した結果でした。ホルモン療法、手術を経て、今も年三回の定期検査を受け続けています。

しかし、治療の目処がつき、病状の安定が見られた事で何か新たな生きる目標設定を考えました。親戚が家族揃って漢検に挑戦していることを聞き、私も高齢者の仲間入りで徐々に脳の衰えを感じつつあつたので、六十二歳になつて準一級から挑戦してみました。幸いにも一回で合格。ところがこの事が学問を甘く見てしまう結果になり、一級挑戦では最初が百二十三点、次が百四十点、百五十点、百五十六点、百五十九点と悔しい思いをしました。そしてやつと百七十点で合格する事ができました。そつときはその喜びも一人でした。

振り返ると、やはり「学問に王道なし」「少年老い易く学成り難し」の諺通り。学ぶことは幼児から社会人までその年齢でコツコツと真面目に学習する事が大切だと心から痛感しました。これからも謙虚さを忘れず、漢検生涯学習ネットワークに入会して知識を深め、更に若者に伝えていきます。

合格証書が届いたときは、ヤッターという気持ちで嬉しさが溢れる思いでした。妻をはじめ家族から「じいちゃん、よかつたね。おめでとう」と祝いの言葉をかけてもらい、喜び倍増でした。

漢検辞典、四字熟語辞典、過去問題集二冊、各社発行問題集七冊等、多くの参考書を繰り返し書いて記憶する勉強を一日五時間、約一千字、三年間で約三百万字書き続けました。

「努力すれば報われる」をモットーに、これからも、更に一級合格証書を増やすべく、前進しようと考へております。

鶴七十六歳にして再び立つ！

宮城県 星さん

一級に合格するまで勉強をやめない！という強い意志のもと、膨大な数の漢字を書いて合格されました。年齢をものともせず、努力を続けるおじいちゃんは輝いています！

私は平成二十四年度第一回検定に合格しました。平成十八年 七十歳のとき漢検を知り六級から勉強を始めました。

検定試験は六級から準一級までは順調に一回で合格することが出来ました。しかし二級に挑戦してその難解さの壁に突き当たり挫折の連続でした。

平成二十一年第一回から平成二十四年第二回の検定まで十回のアタックで漸くマッチポイントを握ることができましたが、それまでは、一級に合格するまで、何回でも挑戦をするという意地で続けてきました。

合格証書が届いたときは、ヤッターという気持ちで嬉しさが溢れる思いでした。妻をはじめ家族から「じいちゃん、よかつたね。おめでとう」と祝いの言葉をかけてもらい、喜び倍増でした。

漢検辞典、四字熟語辞典、過去問題集二冊、各社発行問題集七冊等、多くの参考書を繰り返し書いて記憶する勉強を一日五時間、約一千字、三年間で約三百万字書き続けました。

「努力すれば報われる」をモットーに、これからも、更に一級合格証書を増やすべく、前進しようと考えております。

鶴七十六歳にして再び立つ！

熊本県 中山さん

病と闘いながらも、高い志を持ち勉学に励まれたひたむきな姿に脱帽です。漢検が病に立ち向かう原動力になれたことは、私たちとしても非常に嬉しいことです。コツコツと努力される姿に心を打たれる方も多いことでしょう。

合格された皆様、本当におめでとうございます！

初合格を目指している方も、合格の瞬にはぜひ感動の声をお聞かせください。

会員通信への投稿募集中！

会員通信を充実させるため、会員の皆様に積極的な投稿をお願いしております。

● 常時募集

(掲載できかねる場合もございます)

漢字一字に込める想い

自分の好きな漢字、自分にとって思い出深い特別な漢字など、漢字一字に込められた想いについてのショートエッセイを募集します。その漢字一字と漢字にまつわるエピソードを、タイトルを必ず添えて500字以内(タイトルを含む)でお書きください。

一級に初めて合格しました！

この一年で、難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。以下の項目に沿って原稿をお書きください。

項目① いつ合格したか

②何回目の挑戦での合格だったか
③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等)、励みになったこと

④合格したときの気持ち・感想
⑤今後の目標

対象
● 項目①～⑤まで500字以内
(2月)の検定で初めて一級に合格された方
平成24年度第1回(6月)～平成24年度第3回

投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。

※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

締切日

2013年6月17日(月)(協会必着)

投稿先

郵送 〒600-8585

京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398
公益財団法人日本漢字能力検定協会
漢検生涯学習ネットワーク担当

FAX 075-352-8310 Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はどちらで一部省略・校正することがあります。ご了承ください。

漢字に関するパズル・クイズ
子どもからお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。(未発表作品に限ります。)
例 ● 漢字クロスワードパズル、子ども向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用、難読漢字パズル等)

書名、著者名、出版社名、発行年を明記し、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

漢字・日本語に関するお薦めの書籍紹介

お詫びと訂正 「会員通信vol.8」の6ページに誤植がありました。お詫びを申し上げますとともに下記の通り訂正させていただきます。
誤「破壊千里」▶正「破壊千里」

日本漢字能力検定 平成25(2013)年度

個人受検 検定日程

	検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
第1回	平成25年 6月30日(日)	平成25年 4月1日(月)	平成25年 5月30日(木)
		※ただし、書店での申込受付は平成25年5月27日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成25年5月30日(木)協会必着	
第2回	平成25年 10月27日(日)	平成25年 7月1日(月)	平成25年 9月27日(金)
		※ただし、書店での申込受付は平成25年9月24日(火)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成25年9月27日(金)協会必着	
第3回	平成26年 2月 2日(日)	平成25年 11月1日(金)	平成25年 12月24日(火)
		※ただし、書店での申込受付は平成25年12月18日(水)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成25年12月24日(火)協会必着	

- 申込締切日(協会必着)を厳守してください。
- 申込締切日以後に願書が到着した場合や、検定料の支払期限が過ぎた場合は受け付けできません。



公益財団法人 日本漢字能力検定協会 本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町398

※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報!! 漢検 検索 <http://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)
※検定日とその前日にあたる土・日は窓口を開設
※検定日・申込締切日は9:00～18:00

